

平成19年度 第1回細胞診従事者講習会 アンケート集計結果

日 時：平成19年11月18日(火) 9:00～16:10
 場 所：財団法人 東京都多摩がん検診センター 2階 研修室
 テーマ・講師：「細胞診に関わる医療紛争」 東京セントラルパソロジーラボラトリー 上野 喜三郎 先生
 「乳腺疾患の細胞診」 日本医科大学付属病院 病理部 松原 美幸 先生
 「免疫組織化学・分子病理技術の細胞診への応用」
 東海大学医学部付属病院 病理検査技術科 加戸 伸明 先生
 「胚細胞と胚細胞腫瘍」 北里研究所病院 病理科 森永 正二郎 先生

申込者数： 31 名(当日申込み 7名)
 受講者数： 29 名
 アンケート回答数： 22 名(回収率 75.9 %)

【細胞診の経験年数】

	0～3年	4～9年	10～20年	20年以上	無回答
回答数(件)	8	4	9	0	1
%	36.4	18.2	40.9	0.0	4.5

【勤務施設における昨年1年間の細胞診検体数】

	5,000未満	5,000以上 10,000未満	10,000以上 20,000未満	20,000以上 100,000未満	100,000以上	無回答
回答数(件)	8	6	3	3	0	2
%	36.4	27.3	13.6	13.6	0.0	9.1

【講習会を知ったきっかけ】

	個別	会報等	職場	ホームページ	その他	無回答
回答数(件)	1	2	19	1	0	0
%	4.5	9.1	86.4	4.5	0.0	0.0

【過去の本講習会参加の有無】

	ない	1～2回	3～6回	7～9回	10回以上	複数回
回答数(件)	9	2	5	0	5	1
%	40.9	9.1	22.7	0.0	22.7	4.5

【内容の評価】

テーマ		期待以上	期待どおり	やや不満	無回答
細胞診に関わる医療紛争	回答数	7	13	1	1
	%	31.8	59.1	4.5	4.5
乳腺疾患の細胞診	回答数	7	14	0	1
	%	31.8	63.6	0.0	4.5
免疫組織化学・分子病理技術の細胞診への応用	回答数	5	13	2	2
	%	22.7	59.1	9.1	9.1
胚細胞と胚細胞腫瘍	回答数	7	13	0	2
	%	31.8	59.1	0.0	9.1

【内容の難易度】

テーマ		理解できた	ほぼ理解できた	理解できなかった	無回答
細胞診に関わる医療紛争	回答数	13	7	0	2
	%	59.1	31.8	0.0	9.1
乳腺疾患の細胞診	回答数	10	10	0	2
	%	45.5	45.5	0.0	9.1
免疫組織化学・分子病理技術の細胞診への応用	回答数	6	13	1	2
	%	27.3	59.1	4.5	9.1
胚細胞と胚細胞腫瘍	回答数	9	10	0	3
	%	40.9	45.5	0.0	13.6

【自由意見】

『細胞診に関わる医療紛争』

- ・もう少し具体的に解説して欲しかった。

『乳腺疾患の細胞診』

- ・スライドがとても良かった。
- ・細胞像と組織像の対比がとても分かり易かった。

『免疫組織化学・分子病理技術の細胞診への応用』

- ・難しかった。
- ・資料が欲しかった。(内容が多くメモ出来なかった)
- ・ある程度絞った領域について解説して欲しかった。

『胚細胞と胚細胞腫瘍』

- ・分かり易かった。
- ・内容は良かった。
- ・マクロの資料も欲しかった。(内容量が多い)
- ・基本～応用まで非常に勉強になった。

【希望するテーマ・講師等】

- ・軟部腫瘍について 向井萬起男先生。
- ・甲状腺(他4)

- ・泌尿器
- ・鑑別困難な症例をやってほしい。
- ・炎症性疾患
- ・乳腺

【ご意見】

- ・日常の業務に関わる内容や新しい知識など、大変興味深い内容でよかった。
- ・普段、見ない分野のことや、勉強不足なことを知ることができて大変身になった。
- ・これからも継続して欲しい。
- ・土日の開催を希望する。
- ・ほぼ満足できた。

平成19年度 第2回細胞診従事者講習会 アンケート集計結果

日 時：平成19年12月18日(火) 9:00～16:10
 場 所：財団法人 東京都多摩がん検診センター 2階 研修室
 テーマ・講師：「子宮体部の臨床と病理、細胞診」 慶應義塾大学医学部産婦人科 進 伸幸 先生
 : 「子宮頸がん検診におけるHPV検査」 順天堂大学浦安病院 臨床病理課 喜納 勝成先生
 : 「貯留胆汁細胞診」 順天堂大学大学院医学研究科 古旗 淳 先生
 : 「スライドカンファレンス」 東京都多摩がん検診センター 検査科 山村 彰彦 先生
 順天堂大学大学院医学研究科 古旗 淳 先生

申込者数： 43 名
 受講者数： 39 名
 アンケート回答数： 28 名(回収率 71.8 %)

【細胞診の経験年数】

	0～3年	4～9年	10～20年	20年以上	無回答
回答数(件)	8	6	9	2	3
%	28.6	21.4	32.1	7.1	10.7

【勤務施設における昨年1年間の細胞診検体数】

	5,000未満	5,000以上 10,000未満	10,000以上 20,000未満	20,000以上 100,000未満	100,000以上	無回答
回答数(件)	8	5	5	5	2	3
%	28.6	17.9	17.9	17.9	7.1	10.7

【講習会を知ったきっかけ】

	個別	会報等	職場	ホームページ	その他	無回答
回答数(件)	1	2	21	0	4	0
%	3.6	7.1	75.0	0.0	14.3	0.0

その他・・・養成所にて 3名 前回の講習会にて 1名

【過去の本講習会参加の有無】

	無し	1～2回	3～6回	7～9回	10回以上	複数回
回答数(件)	6	7	9	0	2	4
%	21.4	25.0	32.1	0.0	7.1	14.3

【内容の評価】

テーマ		期待以上	期待どおり	やや不満	無回答
子宮体部の臨床と病理、細胞診	回答数	2	23	2	1
	%	7.1	82.1	7.1	3.6
子宮頸がん検診におけるHPV検査	回答数	9	18	1	0
	%	32.1	64.3	3.6	0.0
貯留胆汁細胞診	回答数	12	13	3	0
	%	42.9	46.4	10.7	0.0
スライドカンファレンス	回答数	12	11	4	1
	%	42.9	39.3	14.3	3.6

【内容の難易度】

テーマ		理解できた	ほぼ理解できた	理解できなかった	無回答
子宮体部の臨床と病理、細胞診	回答数	8	19	0	1
	%	28.6	67.9	0.0	3.6
子宮頸がん検診におけるHPV検査	回答数	7	21	0	0
	%	25.0	75.0	0.0	0.0
貯留胆汁細胞診	回答数	7	19	1	1
	%	25.0	67.9	3.6	3.6
スライドカンファレンス	回答数	6	21	0	1
	%	21.4	75.0	0.0	3.6

【自由意見】

「子宮体部の臨床と病理、細胞診」

- ・病理の内容が多かった。
- ・GIと複雑型異型の鑑別について大変わかりやすく説明していただいて参考になりました。

「子宮頸がん検診におけるHPV検査」

- ・以前よりは理解できた。
- ・知っていることが多かった。
- ・hybrid captureに興味があったため、大変興味深く聞かせていただいた。
- ・プリントの字が読みにくい所があった。

「貯留胆汁細胞診」

- ・表の記入法が複雑で使いにくかったが、使用法を覚えれば役立つと思った。
- ・判定基準の構築は大変意義のあることだと思う。
- ・判定基準を行ってみて成績が良かった。

「スライドカンファレンス」

- ・大きな良悪のミスは減ったが、擬陽性が大半を占めたので、表の改善は必要と思った。

【スライドカンファレンスについて改善してほしいこと】

- ・スライドカンファレンスは胆汁と腓液のみで、もう少し婦人科を含めた本日のテーマ全体で行って欲しかった。
- ・症例数を多くしてほしい。
- ・次回より鏡見を含めたカンファレンス(スライド)を行ってもらいたい。スライドのみでは部分的に見えず、全体像として見ることができない。
- ・顕微鏡を増やしてほしい。
- ・良かった。
- ・今回は鏡見も出来、わかりやすかった。

【希望するテーマ・講師等】

- ・乳腺 FNA
- ・泌尿器(他1)
- ・画像と乳癌(DCIS)
- ・聖路加国際病院 放射線科 角田先生
- ・検体処理法(各種検体)
- ・やはり子宮について勉強したい。特にHPV、ASCについて
- ・脳腫瘍の基本のみかた考え方
- ・尿の良性異型について

【ご意見】

- ・土日の休日が参加しやすい。
- ・引き続き行って欲しい。
- ・新宿の「ハイジア」で行って欲しい。多摩がんは都心から離れすぎていて不便。
- ・消化器は苦手なのでためになった。
- ・話題になっているテーマが多く、興味深く、それぞれの講演を聞かせてもらった。今後とも引き続き、講義 + スライドカンファレンスといった形で企画して欲しい。

平成19年度 第3回細胞診従事者講習会 アンケート集計結果

日 時：平成20年2月22日(金) 9:00～16:10
 場 所：東京都健康プラザ「ハイジア」4階 研修室
 テーマ・講師：「中皮腫の病理、細胞診」 東京医科大学 病理学教室 岡田真也 先生
 「マンモグラフィと乳腺疾患検査」
 東京医科大学病院 乳腺科 山田公人 先生
 「呼吸器の細胞診」 東京医科大学病院 病理診断部 三宅真司 先生
 「スライドカンファレンス」 杏林大学 保健学部 藤井雅彦 先生
 東京都予防医学協会 細胞病理診断科 石山功二 先生

申込者数： 52 名
 受講者数： 50 名
 アンケート回答数： 38 名(回収率 76.0 %)

【細胞診の経験年数】

	0～3年	4～9年	10～20年	20年以上	無回答
回答数(件)	10	6	16	5	1
%	26.3	15.8	42.1	13.2	2.6

【勤務施設における昨年1年間の細胞診検体数】

	5,000未満	5,000以上 10,000未満	10,000以上 20,000未満	20,000以上 100,000未満	100,000以上	無回答
回答数(件)	12	11	5	2	5	3
%	31.6	28.9	13.2	5.3	13.2	7.9

【講習会を知ったきっかけ】

	個別	会報等	職場	ホームページ	その他	無回答
回答数(件)	3	2	31	2	0	0
%	7.9	5.3	81.6	5.3	0.0	0.0

【過去の本講習会参加の有無】

	無し	1～2回	3～6回	7～9回	10回以上	複数回	記入なし
回答数(件)	8	5	9	2	7	6	1
%	21.1	13.2	23.7	5.3	18.4	15.8	2.6

【内容の評価】

テーマ		期待以上	期待どおり	やや不満	無回答
中皮腫の病理、細胞診	回答数	9	28	1	0
	%	23.7	73.7	2.6	0.0
マンモグラフィと乳腺疾患検査	回答数	6	26	6	0
	%	15.9	68.4	15.8	0.0
呼吸器の細胞診	回答数	10	28	0	0
	%	26.3	73.7	0.0	0.0
スライドカンファレンス	回答数	0	22	3	4
	%	23.7	57.9	7.9	10.5

【内容の難易度】

テーマ		理解できた	ほぼ理解できた	理解できなかった	無回答
中皮腫の病理、細胞診	回答数	6	26	0	6
	%	15.8	68.4	0.0	15.8
マンモグラフィと乳腺疾患検査	回答数	3	28	1	6
	%	7.9	73.7	2.6	15.8
呼吸器の細胞診	回答数	9	22	0	7
	%	23.7	57.9	0.0	18.4
スライドカンファレンス	回答数	7	19	3	9
	%	18.4	50.0	7.9	23.7

【自由意見】

『中皮腫の病理、細胞診』

- ・もう少しまとまりがあると良い。
- ・分かり易かった。
- ・細胞診の写真が多く、具体的で勉強になった。

『マンモグラフィと乳腺疾患検査』

- ・レジュメが欲しかった。
- ・治療など臨床的な内容は非常に役に立つと思われる。
- ・画像の読み方を期待していた。
- ・もう少し細胞像について取り入れて欲しかった。

『呼吸器の細胞診』

- ・簡単な内容だった。

『スライドカンファレンス』

- ・症例1つに時間をとりすぎで疲れた。
- ・興味深い症例で勉強になった。
- ・異型化生がかなり難しかった。

【スライドカンファレンスについて改善してほしいこと】

- ・症例数が少なく疲れた。時間をかけすぎと思う。
- ・婦人科以外の検体についても症例提示を希望する。
- ・医師の意見が一番最後であったが、その症例ごとに聞いた方がよい。
- ・間違いやすい不一致例は、日常の業務に直結する感じで、よかった。次回もこのような症例をあげて欲しい。
- ・臨床の現場にあまり行く機会がないので、患者の写真をもっと見たいと思った。
- ・予め配られる写真の枚数を増やして欲しい。

【希望するテーマ・講師等】

- ・軟部腫瘍、悪性リンパ腫について講習して欲しい。また細胞診だけでなく、画像の見方(CT、MR、US)などの講習会も希望する。
- ・体腔液における組織型、体腔液の悪性リンパ腫。
- ・泌尿器、甲状腺。
- ・乳腺画像と細胞診。
- ・乳腺、子宮内膜。
- ・乳腺、免疫染色について。エコー、組織、細胞診について。

【ご意見】

- ・健康プラザハイジア(新宿)で開催してもらおうと参加しやすい。
- ・施設ごとのカテゴリーが多く、細胞診学会、病理学会で規約を作ってほしい。混乱することが多い。
- ・現場を離れていた人たち用のトレーニング講習会のようなものを行って欲しい。
- ・資格をとってから、細胞像を見ることがなかったので、とても為になった。
- ・どのカリキュラムも勉強になった。

平成19年度 第4回細胞診従事者講習会アンケート集計結果

日 時：平成20年3月4日(火) 9:00～16:00
 場 所：財団法人 東京都多摩がん検診センター 3階 講堂
 テーマ・講師：ワークショップ「乳腺及び泌尿器」

【鏡検実習及び質疑応答】

昭和大学医学部 第二病理学教室	瀧本 雅文 先生
東京慈恵会医科大学 病理学教室	鈴木 正章 先生
東京顕微鏡院 細胞病理診断科	石井 保吉 先生
(財)東京都予防医学協会 細胞病理診断科	楠 奈々子 先生

【症例提供者】

昭和大学病院 病院病理部	津田 祥子 先生
サイパソリサーチセンター	和泉 智子 先生
立川共済病院 病理科	笹井 伸哉 先生
都立大塚病院	浅見 英一 先生

申込者数：40名
 受講者数：38名
 アンケート回答数：36名(回収率 94.7%)

【細胞診の経験年数】

	0～3年	4～9年	10～20年	20年以上	無回答
回答数(件)	16	12	4	3	1
%	44.4	33.3	11.1	8.3	2.8

【勤務施設における昨年1年間の細胞診検体数】

	5,000未満	5,000以上 10,000未満	10,000以上 20,000未満	20,000以上 100,000未満	100,000以上	無回答
回答数(件)	13	5	7	5	3	3
%	36.1	13.9	19.4	13.9	8.3	8.3

【講習会を知ったきっかけ】

	個別	会報等	職場	ホームページ	その他	無回答
回答数(件)	7	1	26	4	1	0
%	19.4	2.8	72.2	11.1	2.8	0.0

その他・・・担当の方よりTELをもらいました 1名

【過去の本講習会参加の有無】

	ない	1～2回	3～6回	7～9回	10回以上	回数未記入
回答数(件)	9	8	11	0	3	5
%	25.0	22.2	30.6	0.0	8.3	13.9

【内容の評価】

	期待以上	期待どおり	やや不満	無回答
回答数	7	25	1	3
%	19.4	69.4	2.8	8.3

期待以上の理由

- ・始めて参加したが、実際、顕微鏡で標本が見られるとは思わなかった。
細胞診に合った組織の標本が付いていたのもあった、実際のH E標本も付けていただけると勉強になる。
- ・micro papillaryを初めて見た。
- ・標本がとても見やすかった。稀少症例もあり良かった。
- ・多くの標本を見ることが出来き、よかった。自施設では見ることの出来ない標本で、勉強になった。
- ・実際に顕微鏡で見る事ができ、とても勉強になった。貴重な症例を見ることが出来たので、参加してよかった。
- ・資料があるワークショップには始めて参加したが、大変分かり易く、標本のみよりも、より参考になった。

期待どおりの理由

- ・いろいろな処理法の標本が見られてよかった。
- ・pap染色以外にギムザ染色の標本をもっと付けてほしい。
- ・症例を減らして、それぞれに全体でポイントとかを話していただくと、もう少し理解できるような気がする。
5分で見ても、質問してというのは少し忙しく、悩んでいる間に終わってしまう。
- ・多くの乳・尿細胞診を見ることが出来て、とても勉強になった。
- ・様々な症例を種々の手技や染色で標本作製してあり、1つの見方でなく、様々な所見のとり方を勉強できた。
- ・日頃見ていない症例を効率よく見ることができた。
- ・自身の弱点を見直すには良い機会である。大変勉強になって明日からの業務に役立つ事と思う。

やや不満の理由

- ・症例がたくさん見られたのは良かったが、解説がもっと聞きたかったのと、5分間だと質問する時間が足りなかったです。ですがとてもよい時間でした。ありがとうございました。

【今後ワークショップで希望するテーマ】

	子宮頸部	子宮体部	乳腺	呼吸器	胸水・腹水	唾液腺	甲状腺
回答数	7	22	7	7	9	4	6

	リンパ腫	泌尿器	骨・軟部	消火器	その他
回答数	8	4	3	3	0

【ワークショップ形式の講習会は実施した方がよいと思いますか】

	はい	いいえ	記入なし
回答数	35	0	1
%	97.2	0.0	2.8

【ご意見】

- ・ワークショップをもっと増やして欲しい。
- ・場所は、できればハイジア(新宿)で、午後からであると、気軽に参加でき、多数の方が集まると思う。
- ・普段悩むことが多いもの行って欲しいが、あまり見る機会の少ない骨、軟部や消化器等も希望する。
- ・ポイントを始めに説明をした上での鏡検が有難い。
- ・解説について、後で個々の症例についてするか、しないかが分からないと困る。
- ・標本と一緒に回ってきた用紙のコピーが欲しい。
- ・各症例についての解説が欲しかった。多くの貴重な症例をありがとうございました。
- ・初心者の自分にとっては、非常に勉強になった。鏡検時間がもう少し欲しかった。